

2017（平成 29）年度活動報告

部会長 原口 雅浩

2017 年度の年次報告

5 月 3 日 北斎版画カード作成

2007 年発足以来、筑後地域の伝統工芸の調査・研究・開発を続けており、そのような展開の一環として、東京在住の和紙研究家亀倉加久子さんの企画による北斎版画カードの制作に協力
和紙は八女の松尾久弘さんが漉き、6 枚合わせという技法で仕上げている。

5 月 19 日 文化財保存科学研究部会の報告会

神本秀爾・狩野啓子

「2017 年 3 月 25 日～4 月 11 日 ローマ・ミラノ研修をふりかえって」

7 月 27 日 IVANO FRANCAVILLA さんとの交流会

一般社団法人ミュージアム支援者協会が申請主体となって経済産業省の平成 29 年度ふるさと名物応援事業補助金（JAPAN ブランド育成支援事業）に応募し、プロジェクト名「八女手漉き和紙の文化財保存・修復用途の欧州での普及と販路確立」として採択。

イタリアの文化財の専門家イヴァーノ・フランカヴィラ氏を大学に招聘し（1 週間滞在）、具体的な検討

10 月 23 日 文化財保存科学研究部会研究会

(1) クララの効能について 特別研究員 上宮健吉

(2) クララの活用について 参加者

11 月 4 日～12 日 イタリア学術訪問（ミラノ・ピコッカ大学とローマ大学との交流）

11 月 6 日（月）

ミラノ・ピコッカ大学医学部キャンパスを中心にした学術交流

桑野剛一（医学部） 感染医学の発表

11 月 10 日（金）ローマ大学サピエンツァ校

桑野剛一先生 藍菌についての発表

12 月 23 日 文化財保存科学研究部会研究会

イタリア訪問の参加者 5 名による報告

イタリア訪問（11/4 ～11/12）の行程、成果と今後の課題について意見交換

3 月 6 日～11 日

平成 29（2017）年度経済産業省 JAPAN ブランド育成支援事業（戦略策定支援事業）

ふるさと名物応援事業（JAPAN ブランド育成支援事業）「八女手漉き和紙の文化財保存・修復用途の欧州での普及と販路確立」

3 月 6 日 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング訪問・小津和紙 販売店視察

3 月 7 日 国立公文書館訪問、書陵部見学

3 月 9 日 文学部産学連携事業 特別講演会

Ivano Francavilla

博物館コーディネーターの仕事ーイタリアでの八女和紙普及に携わってー
久留米大学福岡サテライト（エルガーラオフィス6F）

3月10日 溝田工房・八女伝統工芸館見学・八女和紙プロモーション委員会

公開講座

6：筑後の伝統工芸

人と紙	亀倉 加久子（紙工芸研究者）
八女和紙と山鹿傘	吉田 崇和（傘職人）
八女和紙の現代的展開	大庭 卓也（久留米大学文学部 准教授）
八女提灯の歩み	伊藤 三男（伊藤権次郎商店 代表）
久留米緋の現代的展開	神本 秀爾（久留米大学文学部 講師）

15：文化財保存を考える

2013年久留米大学の取り組み「日本の伝統技術を用いて文化財保存用品を創る」について

	吉森 英雄（九州経済産業局 中小企業課）
クールジャパンの取り組み	矢野 英子（大分大学経済学部 准教授）
文化財保存をテーマとしての10年を振り返る	狩野 啓子（久留米大学文学部 教授）
クールジャパンのプロデューサーとして1	溝田 俊和（八女和紙製者）
クールジャパンのプロデューサーとして2	松枝 哲哉（久留米緋製者）

文学部産学連携

はじめてのくるめかすり2017

- 第一回：久留米ほとめき通り夜市散策・くるめボタンの配布とアンケート調査
- 第二回：久留米緋の工房見学
- 第三回：福岡県庁における筑后市主催のかすりファッションショーへの参加

八女手漉き和紙

12月16日 大庭・矢毛ゼミ

伝統工芸会館：八女地方の提灯、仏壇、石細工などのさまざまな伝統工芸品の展示物を実見、その歴史と現代の展開を勉強

3月10日 狩野ゼミ

溝田和紙工房：八女和紙産業の歴史と現状について説明を受け、各自が紙すきの体験

ニュース

JAPAN ブランド育成支援事業に関連した番組が放映されました。

世界一の九州が始まる「命ふきこむ和紙作り」

RKB（2018年4月8日10：15-10：30）

国際交流基金海外派遣事業に採択されました。

「イタリア レクチャー・デモンストレーション・ワークショップ」

2018年5月に、イタリアのローマ日本文化会館およびフィレンツェで開催される文化財保存国際学会（HERI-TECH）関連ブースにて、八女の伝統工芸のPRを行います。

（文責 原口雅浩）